家庭 家庭基礎 『生涯の生活設計』

【スプレッドシートを活用したグループワークの進行状況の共有】

A			K	L	M.	N	0	ρ	Q	R	9	T =	U
											3	0歳代	
-	18. A.C.			man Pato		子育で			年間支出	MINERYS.			
	GMD		@C08	MARK	非国生 法	AR	Tittle	州東西田188		11.00	タイプ		- 2
1班	(TS	¥)	(-), v	300万円	100万円	(2 ×)	200万円	10075(9)	100万円	10万円	朔	2099 V	
2 म	AR	*	(-), •)	310万円	100万円	1.	80万円	10075P9	120万円	86万円	MH +	68 +	
3班	(TŞ	•	-L v	300万円	10075[9]	1.	0075(*)	500/5(9)	100万円	0575[9]	黄河 •	64 +	
4期	TR	٠	(E.J. •)	310万円	200万円	1.	80万円	106075P3	120万円	290万円	マンション・	68 +	300
5班	44	٠	-J. •	310万円	10075[9]	1.	0075(9)	100/5(9)	100万円	2575[9]	ガ河 ・	64 .	
6期	TE	٠	(=), •)	310万円	100万円	3 *	200万円	50075FB	180万円	の万円	ĦH ▼	6.0	
7班	(LIQL)	•	•			•		50075(9)	25075[9]	11075[9]	TO T	80 -	
8 W	680		-			-		70075F9	290万円	179万円	作品 マ	99 +	

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

協働学習

発表や話合い 協働での意見整理

マネープランゲームの集計進行状況(前半)

×	Y	2			AG	AC	AD	Æ
			貯蓄	思い性P (30時代				
用牌 EDOSE	内製庫	69.	できごと		ex.	索出	(20機代金で)	SEC)
70万円	400万円	200万円	艾州松	*	ЯR	75(9)	-3300万円	2
120万円	zя	200万円	受多数自	-	DВ	100万円	-1650万円	1
120万円	100万円	20075[9]	自事で大事	*	ЯN	75(9)	-650万円	1
	400万円	200万円	交额数	-	zя	万円	1950万円	
12075[7]	58	20075[9]	RORMC	-	2517	10075[9]	-2550万円	1
120万円	58	200万円	製金に作む		БB	100万円	-1600万円	1
20075[9]			85077	-		20075[9]	-1900万円	- 1
200万円	400万円	200万円	インフレ気性機	-	26	1007579	1400万円	

マネーブランゲームの集計進行状況(後半)

活用した機器等

Chromebook iPad プロジェクター

活用したアプリ等

Google スプレッドシート

学習のねらい

「生活設計・マネープランゲーム」(全国銀行協会)にグループで取り組み、生活設計を行う上でのリスク管理の視点を持つ。

学習の流れ

導 マネープランゲームの進行方法、ルールなどを確認し、各班で進行 入 係、入力係、カード係などを決める。

—

班ごとに設定された家族や収入の状況に応じて、購入の是非や最 展 適な選択肢を選び収支を計算していく。

班ごとに検討し選択した内容はGoogleスプレッドシートに随時入力するとともに、他の班の途中経過にも注目しながら進める。

まと

全班が入力したスプレットシートはプロジェクターを通して全体で確認し、班による違いを確認・理解する。

それを踏まえて、人生の分岐点となった「状況」や「選択」による違いがどこで何であったかを考え、振り返りをまとめる。

ココでICTを活用!

人生設計途中での選択、イベントやアクシデントの結果、貯蓄額の計算などを1つのGoogleスプレッドシート上で入力・閲覧できるようにした。それにより、他の班との違いや進行状況をリアルタイムで共有でき、人生における収支のポイントとなる分岐点や選択肢の違いの影響に早い段階で気づけるようにした。

なお、人力簡素化と視覚支援の為、以下の工夫を行った。①人力規則を利用したプルダウンメニュー②「100」と入力すると「100万円」などと表示される書式設定③収入と支出で数字を色分けするとともに、貯蓄が赤字になるとセルが赤塗になるように条件付き書式の設定④貯蓄額は関数による自動計算とし、誤って関数を消されないようにセルロック

また、スプレッドシートを共有しておくことで、まとめにおいて、分岐点で別の選択をした場合のシミュレーションも視覚的に確認できるようにした。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

以前までは授業の最後に時間を取って各班の状況を急いで板書していたが、クラウド上での共有に変更したことで、進行 状況や入力内容を他の班と簡単に比較できるようになり、計画性を持って生活していくことや収支のポイントに自ら気付く生 徒が増えた。これまで書ききれれなかった細部まで共有可能となり、注目してほしい箇所のズームアップも容易にできるので ポイントが伝わりやすくなったと感じる。

貯蓄額の計算が自動化され、ゲームの進行が早くなったことで、教員や生徒の負担軽減と時間短縮にもなり、余裕を持って 事後解説の時間を取れた。また、数字の入れ替えが簡単に行えるので、ゲーム終了後に様々なパターンを検証する生徒も見られた。